



平成26年10月3日

株式会社七十七銀行
国立大学法人東北大学

七十七銀行・東北大学 共同企画「東北大学ラボツアー3」開催のご案内

株式会社七十七銀行（頭取 氏家 照彦、以下「七十七銀行」）と国立大学法人東北大学（総長 里見 進、以下「東北大学」）は、「連携協力に関する協定」に基づき、産学連携を通じた地域産業の発展と地域経済の活性化への取組みとして、地域企業が東北大学の研究室を訪問する「東北大学ラボツアー3」を開催いたしますので、下記のとおりご案内いたします。

本ラボツアーは、地域企業の技術力向上および若手エンジニアの育成支援を目的に、七十七銀行と東北大学が平成24年度から取組む研究室体験型の産学連携企画であり、今回は東北大学の担当教員からILC・自動車関連や食品、医療機器、バイオマス・エネルギー関連分野に関する先端技術や特色ある研究内容の説明を受けながら、実際に研究施設や装置等をご覧いただけます。

記

- | | | | |
|--------|------|-----------------|---------------|
| 1. 日 時 | Aコース | 平成26年11月 5日 (水) | 13:00 ~ 17:00 |
| | Bコース | 平成26年11月 6日 (木) | 13:00 ~ 17:00 |
| | Cコース | 平成26年11月12日 (水) | 13:00 ~ 17:00 |
| | Dコース | 平成26年11月13日 (木) | 13:00 ~ 17:00 |

2. 場 所 東北大学 雨宮キャンパス (仙台市青葉区堤通雨宮町1-1)
青葉山キャンパス (仙台市青葉区荒巻字青葉6-6)

3. 主 催 七十七銀行、東北大学

4. 対 象

主に下記分野に関連する企業の皆様および新規参入を検討する企業の皆様

- (1) 食料品加工関連分野 (特に水産物加工業、醸造業、健康食品製造業等)
- (2) 環境・エネルギー関連分野
- (3) ILC (国際リニアコライダー)、自動車関連分野
- (4) 医療機器関連分野
(全4回、各コース定員10名、合計40名)

5. 内 容

- (1) Aコース「食品関連コース」
見学内容 栄養学、水産資源化学、食品化学分野の研究室訪問
- (2) Bコース「成長分野 (バイオマス・エネルギー関連) コース」
見学内容 リサイクル化学、反応プロセス工学、環境システム生物学分野の研究室訪問
- (3) Cコース「ILC・自動車関連コース」
見学内容 素粒子実験、イメージ解析学、ロボットシステム学分野の研究室訪問
- (4) Dコース「医療機器関連コース」
見学内容 医用光工学、先端情報技術研究部、医療福祉工学分野の研究室訪問

※詳細は、別紙チラシをご参照ください。

<ご参考>

七十七銀行・東北大学共同企画「東北大学ラボツアー」開催実績

1. 「東北大学ラボツアー」

- (1) 日 時 平成25年2月19日(火)、22日(金)
- (2) 内 容 Aコース「自動車産業関連コース①」
金属・加工等、電気・電源関係分野
Bコース「自動車産業関連コース②」
ロボット、金属・加工等、微小電気機械システム分野
Cコース「東北大学を知りたいコース①」
ロボット、環境科学、次世代2次電池分野
Dコース「東北大学を知りたいコース②」
超臨界技術、結晶材料、半導体技術分野
- (3) 参加企業 29企業/団体(43名)

2. 「東北大学ラボツアー2」

- (1) 日 時 平成25年11月8日(金)、12日(火)、14日(木)、15日(金)
- (2) 内 容 Aコース「水産・食品関連コース」
水産資源化学、食品加工、応用心理学分野
Bコース「ものづくり・自動車関連コース①」
接合技術、熱電発電、精密加工計測分野
Cコース「医療機器関連コース」
生体超音波計測、医用光工学、低侵襲医療機器分野
Dコース「ものづくり・自動車関連コース②」
金属資源リサイクル、量子ドット太陽電池、
電子ビーム積層造型技術分野
- (3) 参加企業 64企業/団体(74名)

以 上

お問い合わせ先

七十七銀行地域開発部地域開発課

担当：伊藤、逸見 電話：022-211-9804 FAX：022-267-5303

東北大学産学連携推進本部事業推進部

担当：後藤、岩渕 電話：022-217-6043 FAX：022-217-6047

七十七銀行・東北大学 共同企画

東北大学 ラボツアー3

 若手エンジニアがつくる
 〆東北の未来〆

七十七銀行と東北大学が連携し、地域企業が取り組んでいる技術や新製品開発に関する課題解決のサポートと若手エンジニアの人材育成を目的として「東北大学ラボツアー」を開催いたします。今回は、東北大学の研究施設を直接訪問し、担当教員からILC・自動車関連や食品、医療機器、バイオマス・エネルギー関連などの技術分野における研究内容の説明を受けながら、実際に施設や装置等をご覧いただけます。企業の皆様のご参加をお待ちしております。

●募集人数各10名

Aコース 11/5(水) ■13:00~17:00
 ■東北大学 雨宮キャンパス

食品関連コース

 [見学先] 農学研究科
 [研究分野] 栄養学・水産資源化学・食品化学

Bコース 11/6(木) ■13:00~17:00
 ■東北大学 青葉山キャンパス

成長分野コース (バイオマス・エネルギー関連)

 [見学先] 環境科学研究科・工学研究科・農学研究科
 [研究分野] リサイクル化学・反応プロセス工学・
 環境システム生物学

Cコース 11/12(水) ■13:00~17:00
 ■東北大学 青葉山キャンパス

ILC・自動車関連コース

 [見学先] 理学研究科・情報科学研究科・工学研究科
 [研究分野] 素粒子実験・イメージ解析学・ロボットシステム学

Dコース 11/13(木) ■13:00~17:00
 ■東北大学 青葉山キャンパス

医療機器関連コース

 [見学先] 医工学研究科・サイバーサイエンスセンター
 [研究分野] 医用光学・先端情報技術研究部・
 医療福祉工学


<申込方法>裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお送り下さい。
 <注意事項>全コース10名定員のため、お申込み多数の場合には、ご希望に添えない場合がございますので、予めご了承下さい。
 当日の集合場所等の詳細スケジュールについては、別途ご連絡させていただきます。

申込締切 / 平成26年10月24日(金)

お申込み先 / 七十七銀行 地域開発部 地域開発課 TEL 022-211-9804 FAX 022-267-5303
 お問い合わせ / 東北大学 産学連携推進本部 事業推進部 TEL 022-217-6043

「東北大学ラボツアー3」 参加申込書

送付先 七十七銀行 地域開発部 地域開発課

FAX 022-267-5303

申込締切

平成26年

10月24日(金)

1. 記載事項(必須) ※ご記入頂きました情報は、当該事業の運営管理に必要な範囲で利用するほか、各種案内・情報提供等に利用することがあります。

貴社名			
所在地			
事業内容			
参加者氏名	所属・役職 (担当業務)	()	
電話	E-mail		
FAX	取引店	七十七銀行	支店
その他(技術開発・新製品開発にかかるご相談等ございましたら、ご記入ください。)			

2. 希望コース(必須、○をつけてください)

	11月5日(水) / Aコース [食品関連コース]	11月6日(木) / Bコース [成長分野(バイオマス・エネルギー関連)コース]	11月12日(水) / Cコース [ILC・自動車関連コース]	11月13日(木) / Dコース [医療機器関連コース]
第1希望				
第2希望				

見学コース紹介

コース	見学先	研究室	テーマ名	研究概要(研究室コメント)
A	農学研究科	駒井三千夫研究室	苦味の感じ方の個人差の体験と味受容体の遺伝子多型による解説	ブロッコリー等アブラナ科植物特有の苦味を敏感に感じ過ぎるため、嫌いで食べない人では発癌リスクが高いという疫学データがある。これは、個人の味受容体遺伝子と疾病発症の関係や個人毎に違う体質の解明にも役立つと考えられている。
	農学研究科	佐藤寛研究室	電磁波を利用した水産物加工技術	様々な周波数の電磁波を食品に照射する、新規食品加工技術を開発している。特に冷凍魚介類の解凍、魚骨の脆弱化による可食化など、水産物加工への利用を進めている。
	農学研究科	都築毅研究室	伝統的日本人食の健康有益性評価	「日本食」の健康有益性を食品・栄養学的に評価している。肥満・老化性疾患になりにくい等の高い健康有益性が見出された、1970-80年頃の伝統的日本人食の特長について紹介する。
B	環境科学研究科	吉岡敏明研究室	資源循環型社会の実現に向けた廃棄物の化学リサイクルの研究	廃プラスチックを有機材料と無機材料に化学的にリサイクルする研究、そして水中の不純物を取り除くことを目的とした新しい浄化技術の開発を行っている。
	工学研究科	米本年邦研究室 (北川尚美准教授)	油糧バイオマスの有効利用技術開発(生理活性物質回収と燃料化)	植物油などの油糧バイオマスに着目し、現行の食用油製造工程で排出する廃棄物を原料として、食(生理活性物質)、素材(乳化剤)、エネルギー(燃料)を低環境負荷で効率的に製造するための技術開発を行っている。
	農学研究科	中井裕研究室 (多田千佳准教授)	生ゴミからエネルギーを生産して、楽しく使うまじづくり	鳴子温泉で微生物による生ゴミからのバイオガス生産について研究。効率的なゴミ処理とエネルギー生産、簡便なガス利用、消化液による作物栽培という安価な資源循環システムを個人の暮らしや中小事業所等に入れたい。
C	理学研究科	山本均研究室	電子陽電子衝突器により宇宙創成の謎に迫る	ILCは全長約30kmの線形電子陽電子衝突機で、「神の粒子」ヒッグス等を、これまでの約100倍の統計的パワーで精査し、宇宙創成の謎にせまる計画である。当研究室はハードとソフトの両面で計画を牽引している。
	情報科学研究科	岡谷貴之・山口光太研究室	画像認識技術の研究と応用	人と同じように画像に写る事物を認識する方法を研究している。車載カメラでクルマを走らせながら撮影した映像から街の変化を自動で認識したり、人が写った写真からそのファッションを認識する方法などを紹介する。
	工学研究科	小菅一弘研究室	システムロボティクス	我々の生活に大きなインパクトを与えられるような次世代ロボット技術の開発を目指し、新しいシーズ技術の研究と、それをベースにしたリアルワールドロボットシステムの研究に取り組んでいる。
D	医工学研究科	松浦祐司研究室	光ファイバ医療応用	内視鏡下でのレーザ治療や早期腫瘍の診断などに適用可能な光ファイバ応用技術について研究を行っている。オリジナル技術である中空光ファイバの医療応用についても幅広く展開している。
	サイバーサイエンスセンター	吉澤誠研究室	ICTを用いたサイバー医療システム	サイバー医療システムを開発している。例えば、在宅終末期ケアのための遠隔心電図モニタリング・システム、ビデオカメラによる自律神経機能評価システム、仮想空間内足こぎ車いすリハビリ・システム、高度放射線医療画像処理システムなどである。
	医工学研究科	田中真美研究室	触覚・触感に基づく医療福祉機器の開発	機械にも勝る「匠の手」とは何であろうか?本研究室ではヒトの巧みな触覚・触感の機能について、触動作を含めてそのメカニズムを解明し、それらを基に医療福祉分野へ応用できるセンサシステムの開発に挑戦している。